

震災復興から地域再建へ ～原発避難と「移動する村」～

3.11 東日本大震災から3年が経過しました。しかし、東北の復興は遅々として進んでいません。とくに原発災害が深刻な福島では故郷を捨て、移住せざるを得ない自治体も数多くあります。今回の講演会は、東京都教育委員会や大田区での行政経験を経て福島大学で自治体政策を研究し、原発避難とまちづくりについて発言している今井照先生に講師をお願いしました。皆様のご参加をお待ちします。

＜今井先生からのメッセージ＞

江戸時代の村は水害や干ばつなどの自然災害に襲われて耕作ができなくなると、村ごと移動することがありました。原発災害は現代

に「移動する村」を出現させています。しかし「移動する村」こそ、人の集合体という自治体の原像です。ここから今の自治体のあり方を再考することができます。

この2月に、『自治体再建—原発避難と「移動する村」』（ちくま新書）を刊行しました。原発災害に直面した自治体の動きを徹底検証し、多重市民権の保障という新たな自治体像を提起しています。さらに「帰りたいけど帰らない」避難者の揺れ動く心情に思いを寄せ、喫緊の課題となっている住まいの再建方策と、「超長期避難」の制度化を提唱しています。ご一読くだされば幸いです。

【講演会資料代 500円 会員無料】

自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2014年6月14日（土）15時～
- 会場：千葉県教育会館本館203会議室
千葉市中央区中央4-13-10

＜講演 講師紹介＞

今井 照（いまい あきら）

＜現職＞福島大学教授

＜略歴＞1977年東京大学文学部社会学専修課程卒業後、東京都教育委員会（学校事務）、東京都大田区役所（企画部、産業経済部、地域振興部等）に勤務、1999年から現職。

＜専攻＞自治体政策

＜著書＞『新自治体の政策形成』（学陽書房、2001年）、『自治体再構築における行政組織と職員の将来像』（公人の友社、2005年）、など多数。



★ お申込は自治研センターへ 電話 043-225-0020

FAX 043-225-0021

☆6月6日（金）までにお申し込み下さい

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連 合 千 葉